

## ひので映画大使最新版

## 第29回映画大使「幸せへのキセキ」

期 日 平成24年5月24日(木)  
 場 所 ワーナー・マイカル・シネマズ日の出

## 【ストーリー紹介】

最愛の妻を亡くしたベンジャミン・ミーはその悲しみから、未だに立ち直れずにいた。彼の2人の子供達も同様に、長男は父親に反抗し、問題を起こすようになっていた。ベンジャミンは仕事を辞め、新しい生活を始めるべく、郊外に理想の家を購入するが、なんとそこには閉鎖中の動物園がついていた！

様々なトラブルが続出する中、開園に向けて彼らと飼育員達の「冒険」が始まる…。幸せへの「奇跡」は起きるのか？



(C) 2012 Twentieth Century Fox Film Corporation. All Rights Reserved.

## 映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

## ▶ 映画大使の「第一声！」

これが実話とはビックリ！

爽やかな感動を与えてくれました。

キャラクターが皆、魅力的でしたね！



## ▶ 映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

マット・デイモンが良かったですね。ハッピーエンドで感動しました。

Bさん

今の荒んだ世の中で、久々に家族との絆や、人間の温かみを感じました。今の日本に欠けているもの、今の日本にピッタリの映画でしたね。心が満たされました。脚本も良かったです。

Cさん

我が家にもああいう雰囲気があったかな、と思い出しながら観ていました。劇中の「20秒の勇気」というセリフは、『勇気を持って前に進むんだ』、という意味ですが、中々それを使えないというのも、人それぞれあると思います。多用するのともうかと思うし、でも大変印象深いセリフでした。Cさん

Dさん

動物と関わった事がない主人公が、再建のために財産も使い果たして、まさに「冒険」をしたという内容でしたが、やはりマット・デイモンの父親役が良かったですね。こういう役も合うんですね。

Eさん

観た後に幸せになれる映画でした。子役の女の子の表情がとても良かったです。人間と動物との距離が近かったですよね。カメラワークが良かったです。冒険をすると奇跡がついてくるのかな、と思えるような内容でしたね。演出が良かったです

す。

Fさん

「神は乗り越えられない試練は与えない」とよく言いますが、まさにそんな感じで、家を買ったら動物園が付いてきたという、凄く突拍子もない話なのに、主人公が何かを乗り越えようとした時に与えられた試練だから、奇跡が起きたんでしょうね。タイトル(邦題)も最初はあまり良い印象ではなかったですが、観終わったら正にこのタイトルがピッタリと思えました。

Gさん

最愛の人を亡くして、父親だけでなく、子供も心に同じ傷を負っていて、作品の流れから、動物によって心を開くのかと思いましたが、そうではなく、虎の死を母の死と重ねた時に、奇跡が生まれたんですね。勇気を持つ事が奇跡を生むこと、心の移り変わりが丁寧に描かれていましたね。ラッキーセブンに開園出来て良かった！動物にも表情があったし、本当の悪人もいなかったし、とても良い映画でした。

#### ● 作品の内容 (印象に残ったシーンなど)

- ・ 子役が良い演技をしてましたね。凄く可愛かった！
- ・ このお話は実話との事で、驚きました。
- ・ 音楽も場面に合っていて、凄く良かったですね。
- ・ キセキとは「奇跡」と「軌跡」の両方の意味があるんですね。
- ・ スカーレット・ヨハンソンの小気味良い演技が最高でした。「真珠の耳飾りの少女」の時から気に入っている女優です。
- ・ ラストシーンが最高！素晴らしい演出でした。
- ・ 家族で観られる作品ですね。動物園に行きたくなった！
- ・ 人間っていいな、と思いましたね。

#### ● まとめ

何か試練があると、人はその重さに耐えられなくなる時があります。でも、ほんの少しでも「勇気」を持った時、それを乗り越える大きな力になるんですね。試練を乗り越える事、それは「冒険」をする事であり、前向きな勇気は「奇跡」を生む事があるんだって、この映画は教えてくれました。

大使の方から、感想を分かち合う、想いを伝え合う、この「ひので映画大使」はとても良い企画ですね、とのお声をいただきました。「作品によっては、観終わった後に、とても心に重圧を感じるものがありますが、こうやって座談会を行い、皆さんの意見を聞き、自分と同じ思いを持って観ていた人がいると、ホッとします。この座談会の時間を設けてもらうのは凄く良いですね」とのご意見をいただき、また、先日行った映写室見学会も、参加いただいた方から、好評をいただきました。ロケがあったら、エキストラにも参加したいとの声もあり、今後も座談会は勿論、様々な企画で映画の魅力を大使に伝え、また大使から一般の方へ伝えていきたいと思えます。

➡ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

➡ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係

電話042-597-0511(内線544)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶